

学位被授与者氏名	靳 卉芝 (じん ふうず)
論文題目	現代中国語の「了」の文法機能に関する研究
論文審査結果の要旨	<p>中国語研究及び中国語教育実践において、動詞後に置く「了」は「動作の完了」を表し、文末に置く「了」は「新状況の出現」を表すといった「二つの了」の「位置決定論」は定論として認識されている。「開始点—持続状態—完結点」という従来の着目点の枠から飛び出し、包括性をもった「変化点」に着目し、位置の違いに関係なく、「一つの了」を主張する本研究は、「了」の文法機能に関する研究に斬新な視点及び見解を示した。これによって、従来の「位置決定論」で解釈しがたい構文を回避することができた。また、「她穿了一件红色的衣服（彼は赤い服を着ている）」のようなこれまで例外と扱われる「動作の結果の持続」を示す「了」の構文の説明ができた。これらの点は高く評価に値する。</p> <p>「一つの了」を立論にあたって、研究者の「着目点」を分析する方法のほか、「了」の語源を探る方法も可能であろう。また、「一つの了」の観点をを用いて、様々な構文を考察する際、いくつかの問題点が見られた。例えば、「着目点」を従来の「開始点—持続状態—完結点」に置いたが、本研究が提起した「変化点」による分析は徹底的に行われていないところがあった。また、「忘了我吧（私を忘れてください）」のような「事物が消失したり離脱したりするという動作の結果」を示す「了」の構文に対して、「変化点」による考察も必要であろう。これらの点の改善は今後の研究課題となる。</p> <p>2023年2月22日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館3-321教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>